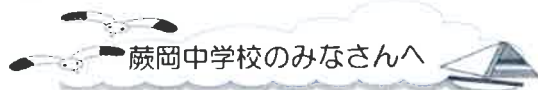


# さわらび

2018. 9. 3 No. 15 文責：大塚



## 蕨岡中学校のみなさんへ

蕨岡中学校の皆さん、こんにちは。  
 私は、スクールサポーターの吉岡です。  
 中村警察署で、学校へ通う子どもたちの安全を守る仕事をしています。  
 8月6日（月）、ミニ広報紙配付のために学校を訪問しました。  
 その時、校庭で部活をしていた皆さんが、元気のいい声で、  
 「おはようございます。」  
 と声をかけてくれました。  
 とても気持ち良かったです。  
 心が和みました。  
 挨拶をすると、人と繋がることが出来ますね。  
 気持ち良く生活するために、  
 これからも自分から進んで  
 挨拶のできる人になってください。



8月16日。うれしい手紙をいただきました。  
 それも書いていただいた吉岡さんが、蕨岡中まで届けてくださいました。手紙の中に紹介されている……この本校の駐車場から校舎までのあいだに、グラウンドから気持ちのよい挨拶が聞こえること……本校の「伝統」といってもいいのではないかと思います。10年前の卒業生の人たちもそうでした。たぶん、そのずっと前からなのではないでしょうか。  
 吉岡さんも書いているように、挨拶をすることは、「人とつながること」です。相手の存在を認めることです。中学校を卒業して高校や社会に出たとき、挨拶がきちんとできることは、そこで自分の存在を認めてもらうためにも必要なことです。とても大事なことに触れていただいた手紙でしたので、2学期のスタートにあわせて紹介いたします。

## おあぜいの前で、頑張りました！

8月25日（土）、中央公民館大ホールにおいて四万十市イングリッシュフェスティバルが行われ、本校からも村松虎次君（1年）、松田花奈さん（2年）、福留聖仁君（3年）が参加しました。3人とも英語の授業で取り組んだスピーチの発表でした。普段積み上げてきた取組が伝わる発表でした。



## 愛校作業、ありがとうございました。



8月26日（日）、保小中で期日をあわせて愛校作業を行いました。今年度は本校の世帯数が少ないこともあり、準備の段階から、蕨岡区長会の皆さんやわたたけノビノビ会の皆さんに声を掛けたり相談させていただきました。また、当日もこの方々をはじめ地域の方々に参加・協力していただきました。ありがとうございました。

特に、懸案であったグラウンド周りの木も伐採していたき、すっきり安全になりました。なかなか職員や保護者だけでは無理なところ。本当に助かりました。また、女性の皆さんには、普段とても手が回っていない3階や階段踊り場の窓ふき等に取り組んでいただきました。これも気になっているけれどなかなかできていないところで、本当にありがたいことです。

生徒は、キャリア教育の取組を兼ねて、造園業のプロの方に依頼して剪定作業を教してもらって、校舎周辺の木の剪定に取り組みました。翌日の高知新聞でも、この学習を取り上げていただきました。

半日の作業を終えて、感謝、感謝の思いでいっぱいです。保護者の皆様、関係者の皆様、本当にありがとうございました。

<8/27 高知新聞>



## 【人事異動のお知らせ】

小野洋美用務員が7月20日で本校での勤務を終えました。その後任として、上岡恵用務員が9月3日より着任しましたので、ご連絡いたします。なにぶん慣れないこともあると思いますが、保護者の皆様、地域の皆様のご協力をお願いいたします。